

# 一般質問



## 不登校・ひきこもりへの支援について

大槻ゆり子 議員

高島子ども・若者総合相談窓口が設置されて2年。誰にも相談できずに一人悩む方々にとって

は、大きな欲びと安心に繋がっていると考え、次の点を伺います。

市には何人の若者がおられ、相談窓口の利用

状況と情報提供の状況は。

答 教育部長

市の18歳から39歳の若者は、2月末現在で12,210人で、15歳から39歳の人口のうち1.79%がひきこもっているという推計されます



毎年開催されている「ひきこもり啓発講演会」

し、24年度では、37人の方から相談が寄せられています。また、広報紙等を利用して支援を必要としている方が利用できるよう広報に努めています。毎年ひきこもりに対する正しい理解を普及するため「ひきこもり啓発講演会」も開催しています。

不登校・引きこもりへの対応は。常駐の専門家の人材確保は。

答 職員全員が、チームとして対応するとともに、個々のケースごとに適切な機関で支援しています。週2日ですが、臨床心理士である心理力ウンセラーを配置しています。

子ども・若者の育成支援は、縦割りではなく横の繋がりを考慮した対応を望む市民の声に対し、市長の見解は。

関係課が連携して支援にあたっており、それぞれが個々のケースの

支援にあたることで共通の認識を図ることができ、部局を超えた支援ができています。

## 不妊症について

全国で140万人の女性が悩む「不妊症」は、少子化対策の一環として考えるべきものとして、次の点を伺います。

市民への周知と理解促進の状況について。

健康福祉部長

不妊症の要因は現時点では特定が困難といわれ、プライバシーの高い症例であるため、具体的な相談事例はありませんが、今後はホームページの活用など、周知方法について検討します。

不妊症治療に対する助成制度の拡充について。

市においては不妊症の該当者の把握が極めて難しい状況ではありますが、まずは実態把握に努めたいと考えます。

## 高島市住宅改修支援制度の補助金について



吹田 薫 議員

「住宅改修支援」や「住まい手応援事業は、住民や地元工務店等にとっても大切な施策です。引き続き継続できないか、また、各申請窓口の一元化ができないか伺います。

答 産業経済部長

今日までの事業成果を検証し、今後、検討したいと考えます。また、窓口の一元化については、総合窓口である商工振興課において、十分配慮し対応させていただきます。

## 市長の所信表明より

市における国道、その他県道工事についての進捗状況は。

答 土木交通部長

国の直轄国道161号湖北及び高島バイパスと小松拡幅は、用地測量・設計・改良工事等順次計画されています。また、県管理の国道303号、367号及び県道については「滋賀県道路整備アクションプログラム」に基づき、順次整備が図られております。

## 饗庭野演習場周辺住宅防音工事について

国の補助金交付要綱での助成基準と、施工部分での矛盾が生じている。今一度、工事に関する説明会が行えないか

射撃が出来る中部方面隊の主要演習場で、年間200日程度、戦車砲、迫撃砲などの射撃訓練が行われています。

最近、騒音が大きくなったとの声をよく聞くが、その対応について問う。

戦車砲、迫撃砲などの射撃訓練については以前と大きく変わったもの

ではありませんが、2月以降150ミリ榴弾砲などの射撃訓練が数日間実施されたことによるものと考えます。

そのため、騒音測定装置の設置を働きかけ、測定が開始されるよう努め、騒音が一定以上になる場合は、住宅防音工事区域の指定が拡大されるよう努めてまいります。

# 一般質問

老朽化が進み耐震のできていない支所等のインフラ整備は、どう進めるのか伺います。

答 市民環境部長

支所の改修には、多額の費用が必要となることや、本庁舎のあり方なども関係しますので、幅広いご意見を聞きながら検討を進めたいと考えます。

人口減少について、どのような対策をとられているか。

答 政策部長

「住宅確保の支援」等3つの重点的事業を中心に、若者定住促進に取り組んでいます。また、妊婦から乳幼児まで様々な助成など、充実した支援体制のもとで「安心して子どもが育てられる高島市」を実現し、進行する少子化に歯止めをかけた

## 少子高齢化対策について

要支援、要介護認定

者数が増えていく中、市の対策などは検討されているのか伺います。

答 健康福祉部長

集落へ出向き出前講座による介護予防の普及に取り組み、医療機関、介護関係の連携により、介護サービス、生活支援サービスなどの継続的な支援を進めています。



介護予防普及のための出前講座

高島市民病院は、急性期のみの患者の受け入れになっていくようであるが、維持期、回復期の病棟などバランスよく図れないものか伺います。

答 市民病院事務部長

病床稼働率から急性期以外の受け入れは困難な状況ですが、市民の皆さんの医療ニーズにできるだけお応えできるよう努めます。

## 社会基盤の整備と管理について



早川 康生 議員

元気な高島の実現のためには、県内でも遅れているように思う社会基盤の整備が何より必要だと思えます。そこで市長の政策集の中から次の点を伺います。

国道161号・303号の早期整備を掲げられていますが、現在の整備状況、今後の予定は。

答 土木交通部長

国道161号湖北バイパスについては、海津・西浜地区の2.5kmの用地取得に向け、用地測量が行われています。

高島バイパスの安曇川地区の安曇川右岸から青柳交差点までの1kmは、調査設計後工事に着手し、平成27年度の完成予定です。また、小松拡幅は順次用地取得をされる予定です。

国道303号の追分工



吹田 薫 議員

「住宅改修支援」や「住まい手応援事業は、住民や地元工務店等にとっても大切な施策です。引き続き継続できないか、また、各申請窓口の一元化ができないか伺います。

答 産業経済部長

今日までの事業成果を検証し、今後、検討したいと考えます。また、窓口の一元化については、総合窓口である商工振興課において、十分配慮し対応させていただきます。

## 市長の所信表明より

市における国道、その他県道工事についての進捗状況は。

答 土木交通部長

国の直轄国道161号湖北及び高島バイパスと小松拡幅は、用地測量・設計・改良工事等順次計画されています。また、県管理の国道303号、367号及び県道については「滋賀県道路整備アクションプログラム」に基づき、順次整備が図られております。



改修が進められる石田川